

研究実施のお知らせ

2024年6月14日 ver.1.0

研究課題名

緑内障手術で摘出された隅角組織の解析

研究の対象となる方

1997年から2018年の間に日本赤十字社医療センター眼科で線維柱帯切除術を受け、摘出した隅角組織の標本が保存されている方。かつ、研究課題「眼科手術で摘出した隅角組織の形態学的検討および酸化ストレスマーカーの検出」(20180703-1)で隅角組織のデジタル画像が島根大学眼科学講座に保存されている方。

研究の目的・意義

緑内障では眼圧下降のために緑内障手術を行います。緑内障手術の一法である線維柱帯切除術では線維柱帯組織が摘出されます。日本赤十字社医療センター眼科では、以前より、緑内障の診断・治療のために摘出した隅角組織の病理検査を行っています。我々は、研究課題「眼科手術で摘出した隅角組織の形態学的検討および酸化ストレスマーカーの検出」(20180703-1)で、日本赤十字社医療センター眼科と共同研究を行い、日本赤十字社医療センター眼科で保存されていた隅角組織画像 350 症例分について、デジタル画像として取り込み保管しています。本研究では、これらの画像を用いて隅角形態の計測を行い、緑内障と隅角の関係を解析します。

研究の方法

島根大学医学部眼科学講座で保存されている隅角組織のデジタル画像上で、解析ソフトウェアを用いて、隅角形状パラメータ（線維柱帯・シュレム氏管の距離、面積）を算出します。これらの値と、背景因子（年齢、性、病型、使用薬剤、眼圧）との関係を統計学的手法を用いて解析します。

収集したデータは、島根大学医学部眼科講座内の外部から容易にアクセスできないPCに保管します。研究対象者リストはデータとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管します。

研究に関するデータ及び関連資料は、研究結果の最終報告を行ってから10年間は保管し、その後保管の必要性がなくなった時点で研究対象者の識別が不可能な状態で消去します。

研究の期間

2024年7月22日～2030年3月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座 谷戸正樹

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出はいつでも可能ですが、解析・結果の公表を行った後は、情報を削除することができず、ご要望に沿えません。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座 谷戸正樹

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278